

熱雷ではCSIが大きくなりました。この年の夏の事例だけでCSIが最大になる閾値を求めると、CAPE0が950 J/kg以上という結果が得られ、従属資料の最適な閾値360 J/kgとは大きく違う結果となりました。そこで、1988年から1997年までの年毎に閾値を求めました(第1図)。このように大部分の年では最適な基準が450 J/kg前後になっていますが、1992と1997年では800 J/kgを超え、逆に1998年では150と小さくなっていました。このように平均的な年に比べて極端に閾値が異なる年があることがわかりました。この原因についてはわかっていませんが、CAPEを使ったポテン

シャルのみによる予測手法による限界ではないかと考えています。今後は、対流雲発生トリガーとなりえる海風による収束や地形による一般風の収束・地上温度分布などを考慮し、さらに精度のよい予測手法を目指せればと思っています。

これからは、今回の受賞をばねにして、発生しつつある気象現象をリアルタイムに把握するための解析用ツール開発や解析技術の向上などに力を注ぎたいと考えています。

(広島地方気象台 黒良龍太)



## SIRWEC2002国際道路気象会議札幌大会のご案内・論文募集について

国際道路気象会議(SIRWEC)は、道路気象に関わる研究者・技術者間で最新技術の情報交換を行う場として2年ごとに開催しているものです。この会議では、道路気象予測や気象測定技術に加えて、道路利用者への気象情報の提供などについて討議し、道路気象に関わる様々な技術の向上を目的としています。

今回、第11回国際道路気象会議を2002年1月に札幌市(京王プラザホテル札幌)で開催いたします。開催の趣旨をご理解頂き、皆様方には奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

**会議予定:** 2002年1月26日(土)~28日(月)

**言語:** 公式会議での使用言語は英語とします。

**会議トピックス(暫定※):**

- ・気象と道路管理方針・政策/費用便益(Weather and Road Maintenance Policy/Cost Benefit)
- ・センサー技術と機器/道路気象情報システム/ITS技術(Sensors and Equipment/RWIS/ITS Technology)
- ・気象予測技術(Forecast Technology)
- ・厳しい気象条件(Severe Weather Conditions)
- ・道路気象一般(Road Weather Climatology)
- ・利用者への道路気象情報提供(Road Weather Infor-

mation for Customers)

※2001年3月のSIRWEC理事会で正式決定されます。

**論文募集:** 2001年4月30日までに、後述の予備登録用紙により論文のタイトルと発表者をお知らせ下さい。論文タイトルのチェック後、2001年5月31日までに会議での発表依頼通知と本論文の募集案内(9月末〆切予定)を送付します。受け取った原稿はそのまま論文集に掲載されます。

**参加費:** 会議参加費は、2001年12月15日までの申し込みの場合25,000円、この日以降の申し込みの場合30,000円を予定しています。

**予備登録:** 今後の連絡のため、下記webサイトにある予備登録用紙に必要事項をご記入の上、大会事務局までFaxでお申し込み下さい。会議の詳細と正式登録用紙は、第2案内と共にお送りします。

**問い合わせ(E-mailかFaxで):**

北海道開発局開発土木研究所内大会事務局  
〒062-8602 札幌市豊平区平岸1条3丁目

Fax: 011-841-9747, Tel: 011-841-5553

E-mail: sirwec2002@ceri.go.jp

URL: <http://www2.ceri.go.jp/sirwec2002/>